

# 2018年3月期の連結業績予想 (2017年4月1日～2018年3月31日)

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成29年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。

ただし、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

**以下の業績予想は、「平成29年3月期 決算短信」の4ページに記載された「次期の見通し(2017年4月1日～2018年3月31日)」の抜粋です。**

**次期の見通し(2017年4月1日～2018年3月31日)**

**ショッピング広告や「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク (YDN)」等のディスプレイ広告売上は、前連結会計年度比で増加することを見込んでいます。検索連動型広告売上においても、スマートフォンでの継続的な機能改善等により前連結会計年度比で増加することを見込んでいます。これらの状況を踏まえ、当社グループでは2018年3月期の広告関連全体の売上高について、前連結会計年度比でひと桁半ば程度の増収率を目指しています。**

**「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」を含めたeコマース国内流通総額は、前連結会計年度比で引き続き増加する見込みです。サービスや商品の磨き込みを継続しつつ、販売促進活動の強化により、取扱高と売上高の成長を加速させることを目指しています。**